指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

令和　　2 年度　　水産　　科

教科	水産　　科	科目	海洋生物	単位数	2　　単位	年次	2　年次
使用教科書（出版社）	高等学校用　海洋生物　（文部科学省）						
副教材等（出版社等）							

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では様々な海洋生物を紹介し，海洋生物に関わる基礎的な知識を身につけます。学習方法は主にパワーポイントを使用し，実物の写真を使用しながら学んだ内容をプリントに記入します。生物について自身で調べて学ぶ調べ学習なども取り入れることもあります。また実物も用意し，海洋生物を実際に目で見て学ぶことができます。どれだけ理解が出来ているかを測るために定期的にプリントやノートを回収します。毎回しっかりと記入しましょう。

2．学習の到達目標

海洋生物に関する基礎的な知識と実験・観察の技法を習得させ，水産資源の管理や有効利用に活用する能力と態度を育てる。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	海洋生物について感心をもち，自ら授業を意欲的に学ぼうとする。また生物単体だけでなく生物同士や周囲の環境についても意識するなど，海洋全体を広い視野で見ることができる考え方を身につけている。	海洋生物について基礎的な内容を学んだ上で，海洋生物や環境の中に問題を見いだし，探求する課程を通して，その問題を科学的に考察し，導き出した答えを適切に表現している。	海洋生物の観察や実験などを行い，観察の仕方からレポートの学び方の基礎を修得する。そこから，観察や実験において的確に記録，整理し，海洋生物を科学的に探求する技能を身につけている。	海洋生物やそれに関する環境について，基本的な概念や原理・原則を理解し，知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4．学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	中間	水圏の環境と生態系	水圏の環境	○				a：水圏の環境や生態系に興味を持ち，意欲的 に探求しようとする。 b：海洋生物と環境の関わりあいについて学び，自然環境は適度なバランスがとられていることを理解し，さらにその問題点について科学的に考察し，導き出した考えを表現している。 c：生物の分類に関して探究活動を行い，種の分類分けの方法を習得するとともに，それらの課程や結果を的確に記録，整理している。 d：生態系とその環境について理解し，知識を身に付けている。また種の分類に関して修得した内容を今後の実験等に活かすことができる。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果
			生態系		○				
			生物の種類と分類			○			
	期末	海洋動物	海洋動物の生活	○					
			無脊椎動物				○		
			脊椎動物				○		
2学期	中間	海洋植物	海洋植物の生活		○		○	a：海洋植物とプランクトンに興味を持ち，海洋植物の種類から生殖方法を含めた世代交代について意欲的に探求しようとする。 b：海洋植物とプランクトンの種類とその生活について学び，説明することができる。 c：海洋植物とプランクトンを実物を利用した探究活動を行い，種の分類分けの方法を習得するとともにそれらの結果を的確に記録，整理している。 d：海洋植物とプランクトンについて理解し，知識を身に付けている。また種の分類に関して修得した内容を今後の実験等に活かすことができる。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果
			生殖と世代交代		○		○		
			海洋植物の種類	○		○			
	期末	プランクトン	プランクトンの種類	○		○			
			植物プランクトン		○		○		
			動物プランクトン		○		○		
3学期	学年末	未利用資源 水産資源管理	未利用資源の活用	○	○	○		a：水産資源と未利用の水産資源について興味を持ち，意欲的に探求しようとする。 b：水産資源について学び，説明することができる。また，その管理方法についても学び，説明することができる。 c：資源の利用と管理について探究活動を行い，その結果を記録，整理することができる。 d：資源の利用と管理ついて理解し，知識を身に 付けている。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果
			水産資源の特徴				○		
			水産資源管理の方法	○	○	○	○		